

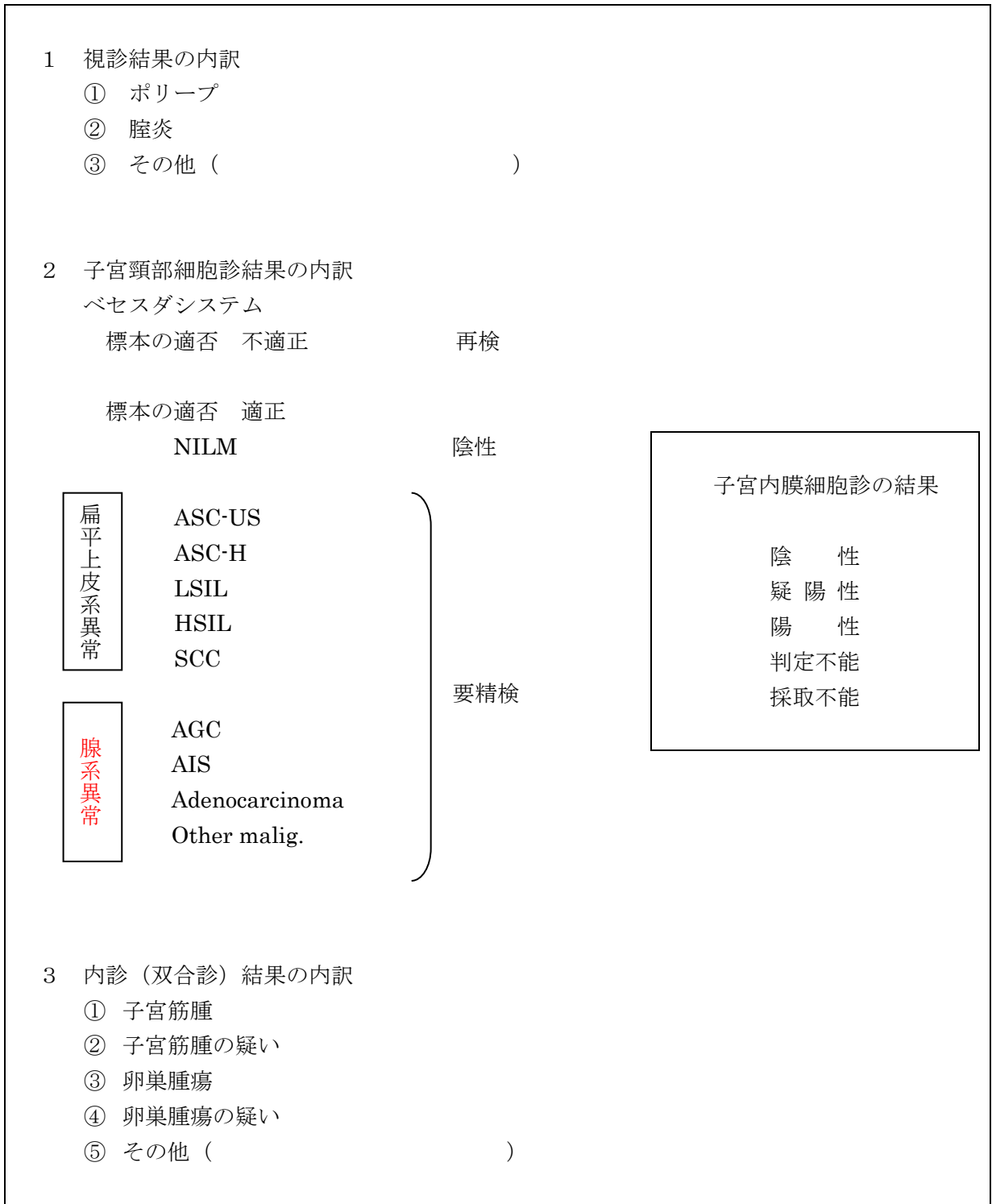
別表5

子宮がん検診問診項目

既往歴 など	<p>1 家族でがんにかかった人がいますか いない・いる ()</p> <p>2 月経の状態 () 日型 整・不整 (最近は 月 日から 日間)</p> <p>3 閉 経 満 () 歳</p> <p>4 妊娠及び分娩歴 妊娠歴 ない・ある (分娩 回、最後の分娩 満 歳)</p> <p>5 今までの婦人科の病気 ない・ある ()</p>
現在の 状況	<p>1 不正出血 (最近6か月以内) ない・ある (色: 鮮血・ピンク・茶褐色) (出血の持続期間 週、 月)</p> <p>2 おりもの ない・ある (少量・中等量・多量) (色: 緑黄色・少し血が混じっている)</p> <p>3 いたみ ない・ある (下腹部・腰部)</p> <p>4 その他 (具体的に)</p>
子宮がん 検診の 受診歴	<p>受診歴 ない・ある (回)</p> <p>最近の3回 年 月 日 検診車・施設 (異常なし・精検)</p> <p>年 月 日 検診車・施設 (異常なし・精検)</p> <p>年 月 日 検診車・施設 (異常なし・精検)</p>
子宮体がん検診 (内膜細胞診) の対象者には、次の項目を追加して問診を行う。	
※ ホルモン剤使用の有無	ない・ある (種類 期間)
※ 子宮内避妊器具使用の有無	ない・ある (期間)
子宮内膜搔爬術 (1か月以内)	受けていない・受けた (平成 年 月 日)

注) ※印の項目については、頸がん検診の問診に含めて行って差し支えない。

子宮がん検診結果の判定について



別表 7

子宮頸がん検診における細胞診判定区分

	結果	略語	推定される 病理診断	従来の クラス分類	英語標記	運用
扁平 上皮系	1) 陰性	NILM	非腫瘍性所見、 炎症	I、II	Negative for intraepithelial lesion or malignancy	異常なし
	2) 意義不明な 異型扁平 上皮細胞	ASC-US	軽度扁平上皮 内病変疑い	II-III a	Atypical squamous cells of undetermined significance	要精密検査： HPV検査(※) または6か月 以内細胞診検査
	3) HSIL を除外 できない異型 扁平上皮細胞	ASC-H	高度扁平上皮 内病変疑い	III a-b	Atypical squamous cells cannot exclude HSIL	要精密検査： コルポ、生検
	4) 軽度扁平 上皮内病変	LSIL	HPV 感染 軽度異形成	III a	Low grade squamous intraepithelial lesion	
	5) 高度扁平 上皮内病変	HSIL	中等度異形成 高度異形成 上皮内がん	III a III b IV	High grade squamous intraepithelial lesion	
	6) 扁平上皮がん	SCC	扁平上皮がん	V	Squamous cell carcinoma	
腺系	7) 異型腺細胞	AGC	腺異型または 腺がん疑い	III	Atypical glandular cells	要精密検査： コルポ、生検、 頸管および 内膜細胞診 または組織診
	8) 上皮内腺がん	AIS	上皮内腺がん	IV	Adenocarcinoma in situ	
	9) 腺がん	Adeno ca cinoma	腺がん	V	Adenocarcinoma	
	10) その他の 悪性腫瘍	Other malig.	その他の悪性 腫瘍	V	Other malignant neoplasms	要精密検査： 病変検索

1) 陰性は腫瘍性細胞所見を認めない場合であり、HPV 感染以外による炎症所見や修復細胞所見もここに含まれる。

※ HPV 検査陰性の場合には1年後に細胞診を行い、HPV 検査陽性の場合にはコルポ・生検を行う。

子宮体がん検診判定及び指導区分

細胞診判定区分	陰性	疑陽性・陽性
指導区分	精検不要（定期検診）	要精検